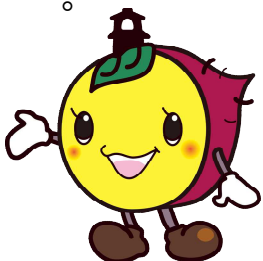


スピーチするとき

- ① 話 はな したいことを きめる。
- ② 話す ざいりようを あつめる。
- ③ 話す じゅんじよを きめる。



↓はじめに、なにについて 話すかを 言う。

じゅんじよを あらわすことば
はじめに つぎに やついに

【話すときに ちゅういすること】

- 声 こえ の 大きさ (みんなに 聞 き こえる声で 話す。)
- はやさ (だいじなところは ゆっくり話すなど くふうする。)
- しいせい正 ただ しく、口 くち を はっきりあけて 話す。

スピーチを 聞 き くとき

【聞 き くときに ちゅういすること】

○ 話 はな している人が しらせたいことは なにかを 考 かんが えながら 聞 き く。

○ どんなじゅんじよで 話 はな しているかに ちゅういして 聞 き く。

○ だいじなことや しりたいことを おとさずに聞 き く。
↓じぶんの 聞 き きたいことを はっきりさせてか 聞 き く。

ペアで 話 はな し合うとき

- あい手の話を 聞 き いて、しつもんする。
- あい手の話を くりかえして たしかめる。
- なるほど 思 おも ったことや 話を 聞 き いて かんじ たことを つたえる。



日記などを 書くとき

- ①書くことを きめる。
- ②書く ざいりようを あつめる。
- ③書くじゅんじよを きめる。



じゅんじよを あらわすことば
はじめに つぎに さいごに

- ④文しように書く。

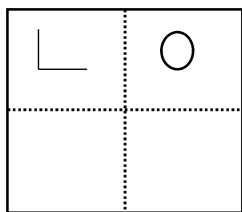
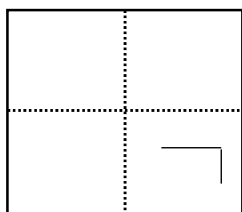
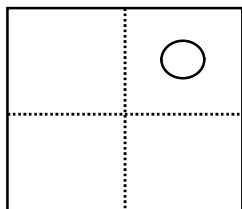
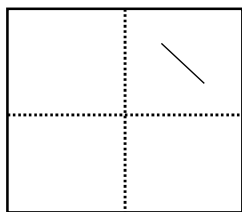
○ないようの まとまりが わかるように 書く。

- ⑤文しように 読みなおして、まちがいを なおす。

○「は」「を」「へ」、小さい「つ」のつかいかた

○かん字のつかいかた

○点(・)や丸(○)かぎ(「」)のつかいかた



【げんこうようしの つかい方】

○文しように 書き出しは、一ますあける。

○かぎを つかうときは、つぎの ぎょうに書く。

と		「	た		で			
、	の	バ	°	は	か	お		
お	る	ス	お	じ	け	じ		本
し	ん	は	じ	め	ま	い		丸
え	だ	、	い	に	し	さ		ご
て	よ	後	さ	、	た	ん	と	て
く	°	ろ	ん	バ	°	と	き	ん
れ		の	が	ス		川	も	へ
ま		と	、	に		ご		行
し		び		の		え	た	っ
た	°	ら		り		の	ろ	た
		か		ま		町	う	よ
		ら		し		へ		



かんそう文の書き方

①書く ざいりょうを あつめる。

書きたいこと (れい)

・本をえらんだ りゆう

・一ばん ころろに のこったこと

・本のだい名から そうぞうしたこと

・ぎもんに 思ったこと

・じぶんが しゅじんこうだったら どうするか。

・しゅじんこうと にたような けいけんをした

ときのことについて

・この本の中で 友だちに おすすめのこと

・この本から 学んだこと

②あつめた中から 書くことを えらぶ。

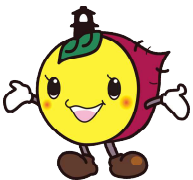
③文しように を 書く。

④文しように を 読みなおして、まちがいを なおす。

○「は」「を」「へ」、小さい「つ」の つかいかた

○点(てん)や丸(まる)かぎ(「」)の つかいかた

○かん字の つかいかた



○本のないように つたえるだけの かんそう文に
ならないように ちゅういしましょう。

【組み立て】

はじめ
○本を えらんだ りゆう
○本のだい名から そうぞうしたこと



中
○一ばん ころろに のこったこと
○しゅじんこうと にたような けいけん
をしたときのこと
○じぶんが しゅじんこうだったら どう
するか。

など

おわり
○この本から 学んだこと

おわり	中	はじめ
○この本から 学んだこと	○一ばん ころろに のこったこと ○しゅじんこうと にたような けいけん をしたときのこと ○じぶんが しゅじんこうだったら どう するか。 など	○本を えらんだ りゆう ○本のだい名から そうぞうしたこと

きょうかしよを 読むとき

【せつめい文】

○ないようの 大体を だいたい 読みとる。



手がかりにするもの

時を あらわすことば

(つぎの日 二時間後 三年前 など)

じゅんじよを あらわすことば

(はじめに じぎに やうじに など)

だい名、見出し、
写真も 手がかりに
なるよ。



○さくしゃが つたえたいことは なにかを考えなが
ら読む。

【ものがたり】

○ないようの 大体を 読みとる。

手がかりにするもの

はめんのようす

とうじよう人ぶつが したこと

とうじよう人ぶつが いったこと

だい名や さし絵も
手がかりになるよ。



○とうじよう人ぶつの こうどうから 気もちを
そうそうする。

手がかりにするもの

書かれている文しよう

(れい)ときもが、スキップしました。

↓うれしい気もち。たのしい気もち。

わくわくした気もち。

二じとば

〇のばす音

おかあさん おとうさん おにいさん

おねえさん おおかみ とおい こおり

〇小さい「や」「ゆ」「よ」

きゅうしよく きゅうりゅう しょうがつこう

〇小さい「し」

かっぱ コップ きっぷ せっけん

〇かぞえ方

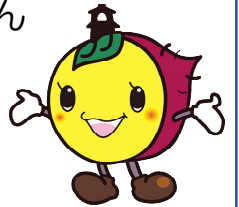
ひとつ ふたつ みっつ よっつ いっつ

六つ ななつ やっつ ここのつ とお

〇日づけのよみ方

一日 ついたち ふつか みっか よっか いっか

六日 むいか なのか ようか ここのか とおか はつか



主語とじゅつ語

主語：何が 何は だれが だれは

じゅつ語：どうする どんなだ 何だ

主語 じゅつ語 (どうする)

ときもが、チョコレートを 食べる。

主語 じゅつ語 (何だ)

きょうは、とても いい天気だ。

主語 じゅつ語 (どんなだ)

夕日が、とても うつくしい。

主語 じゅつ語 (どんなだ)

ときもは、きょうも 元気だ。

文しようにを 読んだり、

書いたり するときには、

主語と じゅつ語の つな

がりに 気をつけよう。

